

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバ インストレーション シート



取り付けを開始する前に、
必ずこのカードをお読みください。

© Copyright January 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Intel、インテルおよびPentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバ インストレーション シート

初版（2005年1月）
製品番号 375600-191



375600-191

サーバの設定

1. すべての周辺装置を接続します。

—キー ボード

—マウス

—モニタ

注：HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Support CDには詳しい資料が収録されています。このインストレーション シートには掲載されていない、追加情報および更新情報については、CDの資料を参照してください。

2. 次の手順を実行して、サーバのBIOSバージョンを確認します。

a. サーバの電源を入れます。

b. HPロゴ画面で**Esc**キーを押し、次に**Pause**キーを押して画面を停止します。

c. サーバのBIOSバージョンをメモします。

d. メモしたサーバのBIOSバージョンを、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp>に掲載されているこのサーバの最新のBIOSバージョンと照合します。

e. 最新のBIOSが搭載されていない場合は、ここでBIOSを更新します。

HPのWebサイト <http://www.hp.com/>（英語）で入手できる『HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Maintenance and Service Guide』を参照してください。

デフォルトのブート優先順

デフォルトでは、サーバは、次の順序でブート デバイスを検出します。

1. リムーバブル デバイス
2. IDE CD-ROM ドライブ
3. ハードディスク ドライブ
4. PXE IBA GEスロット0A08 V1219

サーバの各部

フロント パネルの各部

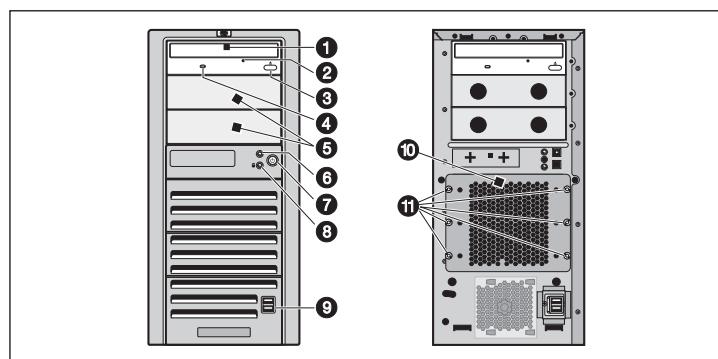


表1：フロント パネルの各部

| 番号 | 説明 |
|----|--------------------------|
| 1 | CD-ROM ドライブ |
| 2 | CD-ROM ドライブのメカニカル取り出しホール |
| 3 | CD-ROM ドライブの取り出しボタン |
| 4 | CD-ROM ドライブ動作インジケータ |
| 5 | フルハイト共通ベイ |

続く

表1：フロントパネルの各部（続き）

| 番号 | 説明 |
|----|--|
| 6 | デュアルカラー ステータスLEDインジケータ <ul style="list-style-type: none"> ● 緑色 – 電源インジケータ ● 黄色 – システム ヘルス インジケータ |
| 7 | 電源ボタン |
| 8 | ドライブ動作インジケータ（黄色） |
| 9 | フロントUSB 2.0ポート |
| 10 | ハードディスク ドライブ（HDD）ケージ |
| 11 | HDDケージ用トルクス ネジ |

リアパネルの各部

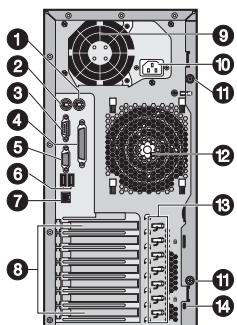


表2：リアパネルの各部

| 番号 | 説明 |
|----|--------------------|
| 1 | PS/2マウス ポート（緑色） |
| 2 | PS/2キーボード ポート（紫色） |
| 3 | シリアル ポート（青緑色） |
| 4 | パラレル ポート（赤紫色） |
| 5 | モニタ ポート（青色） |
| 6 | リアUSB 2.0ポート（黒色） |
| 7 | LANポート（RJ-45） |
| 8 | PCIスロット カバー |
| 9 | PSUファン |
| 10 | パワー サプライ ケーブル ソケット |
| 11 | アクセス パネル用つまみネジ |
| 12 | システム ファン |
| 13 | PCIスロット カバー用固定クリップ |
| 14 | Kensingtonロック ノッチ |

システムボードの各部

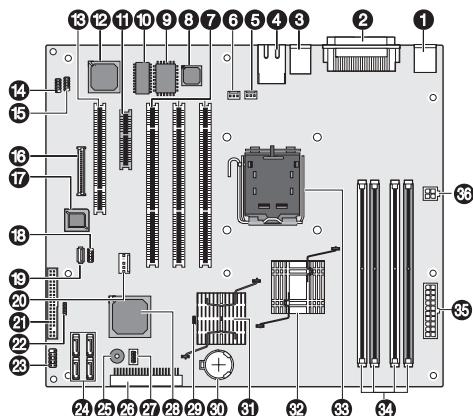


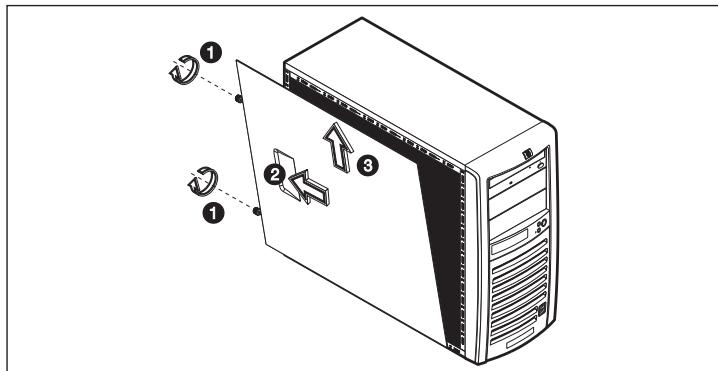
表3：システムボードの各部

| 番号 | コード | 説明 |
|----|-----------------|--|
| 1 | CN1 | 上側：PS/2マウス ポート（緑色） 下側：PS/2キーボード ポート（紫色） |
| 2 | CN2 | 上側：パラレル ポート（赤紫色） 左側：モニタ ポート（青色） 右側：シリアル ポート（青緑色） |
| 3 | CN5 | USB 2.0ポート（黒色×2） |
| 4 | CN6 | LANポート（RJ-45） |
| 5 | CN7 | 3ピンCPUファン コネクタ |
| 6 | CN10 | 3ピン システム ファン コネクタ（背面） |
| 7 | PCI1～ PCI3 | 64ビット/100MHz 3.3V PCI-Xバス スロット（×3） |
| 8 | U13 | インテルGD8254IPI GbE LANコントローラ |
| 9 | U17 | SMSC LPC47M192 Super I/Oチップセット |
| 10 | U18 | VGAフレーム バッファ |
| 11 | PCI4 | PCI-Express x4バス スロット |
| 12 | U22 | ATI Rage XL VGAチップセット |
| 13 | PCI5 | 32ビット/33MHz 5V PCIバス スロット |
| 14 | CN22 | 9ピンBMC COMコネクタ |
| 15 | CN24 | 9ピン拡張シリアル コネクタ（COM2） |
| 16 | CN20 | IPMIコネクタ |
| 17 | U34 | BIOS |
| 18 | CN21 | 9ピン フロントUSBコネクタ |
| 19 | CN27 | 内部USBコネクタ |
| 20 | CN17 | 内部USBコネクタ（内蔵USBテープ用） |
| 21 | CN18 | 34ピンFDDコネクタ |
| 22 | CN13 | 4ピンSCSI LEDコネクタ |
| 23 | CN16 | 9ピン フロント パネル コネクタ |
| 24 | SATA0～ SATA3 | 7ピン150MB/秒SATAコネクタ（×4） |
| 25 | BZ1 | 内蔵 ブザー |
| 26 | IDE1 | IDEチャネルUDMA-100 |
| 27 | SW1 | システム コンフィギュレーションスイッチ（ディップスイッチ） |
| 28 | U46 | インテルICH6Rチップセット（サウス ブリッジ） |
| 29 | JP1 | PCI-Xバス速度ジャンパ ジャンパ設定： <ul style="list-style-type: none"> ● 1～2 – 133MHz PCI-Xバス（デフォルト） ● 2～3 – 100MHz PCI-Xバス |
| 30 | BT1 | バッテリ |
| 31 | U16 | インテル6702 PXH-Vチップセット（PCIブリッジ） |
| 32 | U9 | インテルE7220チップセット（ノース ブリッジ） |
| 33 | U10 | インテルLGA775 CPUソケット |
| 34 | DIMM1～4 | DIMMスロット（×4） |
| 35 | PWRCON2 | 20ピン、ATXシステム ボード電源コネクタ |
| 36 | PWRCON1 | 4ピン、ATX CPU電源コネクタ |

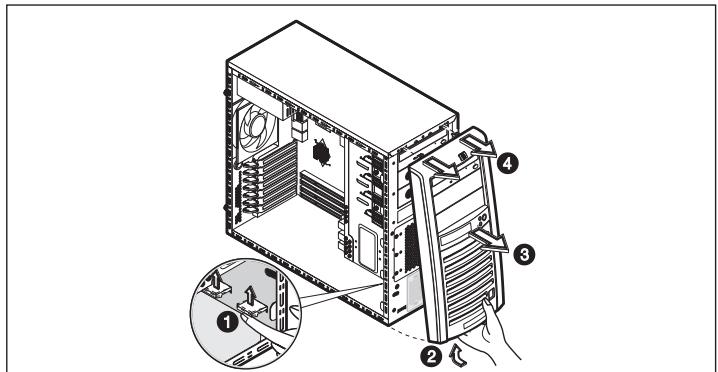
サーバを開く

ProLiant ML110 Generation 2サーバでは、アクセス パネルとフロント ベゼルを取り外せます。サーバ コンポーネントの取り外しや交換を行う前に、これらのシステム カバーを取り外してください。

アクセス パネルを取り外す



フロント ベゼルを取り外す



大容量記憶装置の取り付け

フロント パネルの下側のドライブ ベイにはHDDケージがあり、最大4台のハードディスク ドライブを搭載できます。ホットプラグ対応HDDケージ モデルは、SATA ドライブのみをサポートしますが、非ホットプラグ対応モデルは、SATA ドライブとSCSI ドライブをサポートします。

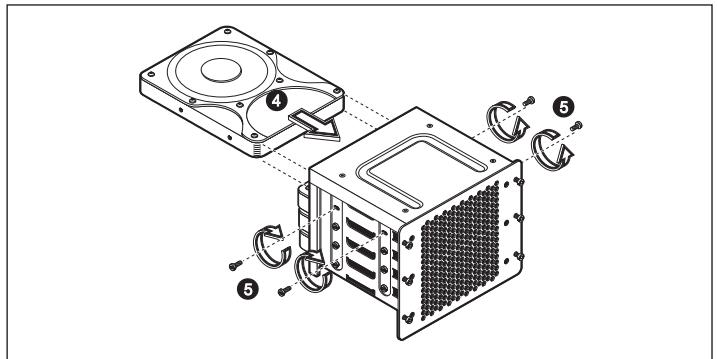
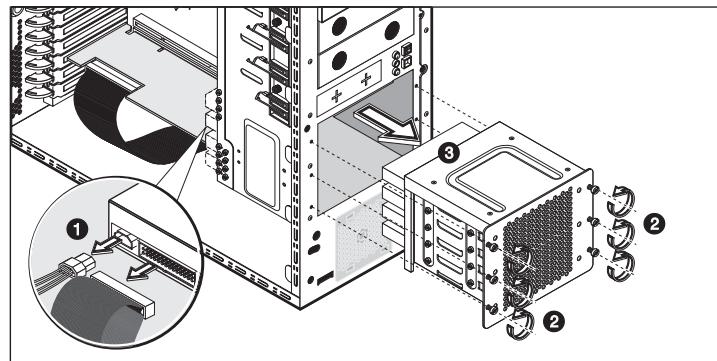


注意：静電気によってドライブが損傷することがあります。ドライブを取り扱う前に、非塗装の金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

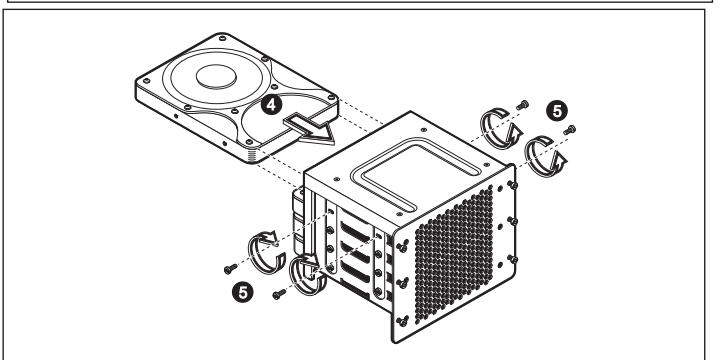
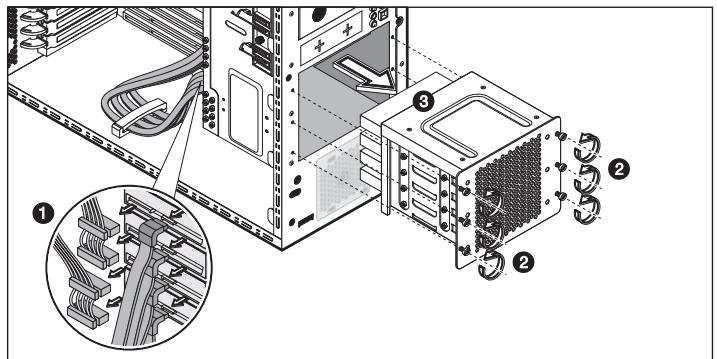


警告：非ホットプラグ対応 ドライブを取り付ける場合は、まず、サーバの電源を切ってください。

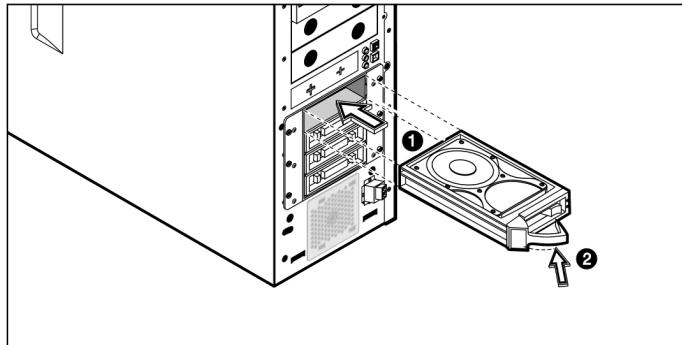
非ホットプラグ対応SCSI ドライブ



非ホットプラグ対応SATA ドライブ



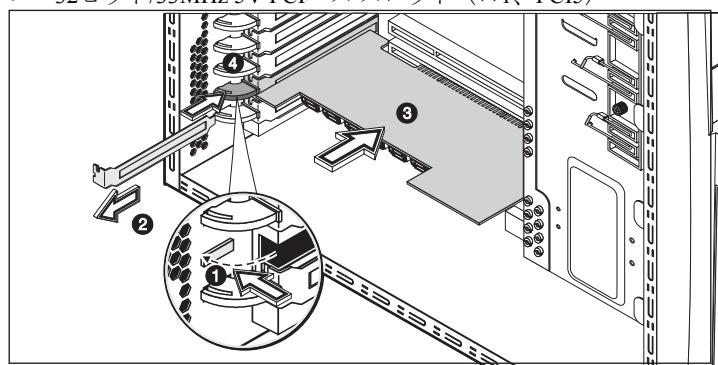
ホットプラグ対応SATA ドライブ



PCIアクセサリ ボードの取り付け

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバは、PCIバス スロットを5個サポートします。

- 64ビット/100MHz 3.3V PCI-Xバス スロット ($\times 3$ 、PCI1～PCI3)
- PCI-Express x4バス スロット ($\times 1$ 、PCI4)
- 32ビット/33MHz 5V PCIバス スロット ($\times 1$ 、PCI5)



メモリの取り付け

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバには、DIMMスロットが4個あり、最大4GB（各スロットに1GB DIMMを搭載時）のシステムメモリをサポートします。

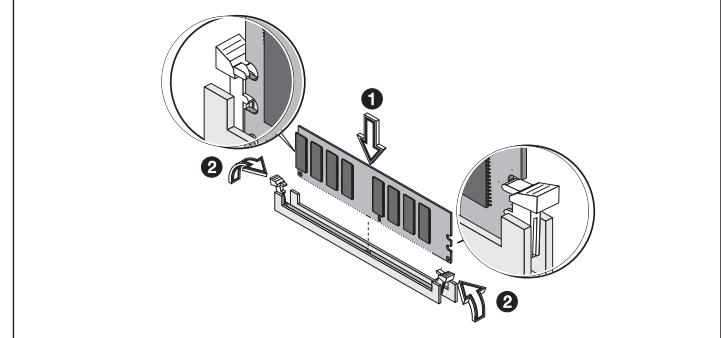
メモリ モジュールの追加または交換の際は、次のガイドラインに従ってください。

- 各256MB、512MB、または1GB構成で、ECCおよび非ECCのDDR 400バッファなしDIMMを使用します。これ以外のDIMMは使用しないでください。
- チャネルごとに、シングルサイドやダブルサイドの最大2枚のDIMMを使用できます。チャネルAがDIMM1およびDIMM2スロット、チャネルBがDIMM3およびDIMM4スロットに対応します。



注意：DIMMの取り扱いを誤ると、DIMMが損傷する場合があります。

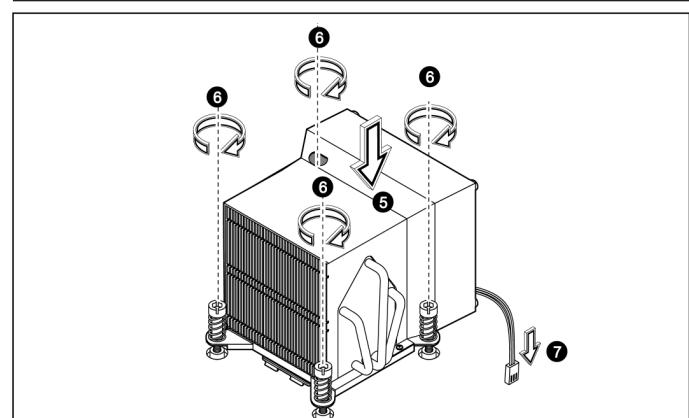
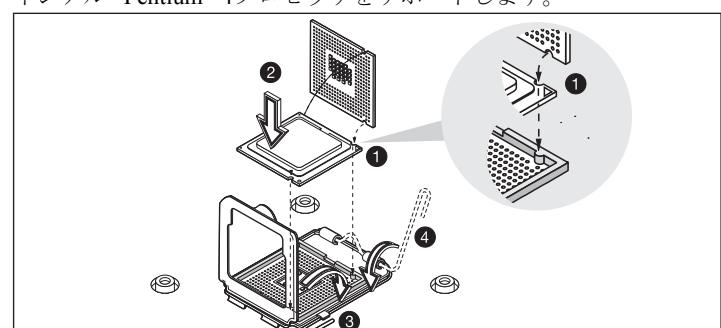
必ず、静電気放電用のアース バンドおよびアース用マットを使用してください。また、DIMMに触れる前に、必ず静電気を放電してください。



DIMMスロットは、DIMMを正しく挿入できるように設計されています。DIMMをスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMMの方向を変えて、もう一度挿入してみてください。

プロセッサの交換

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバのLGA775 CPUソケットは、インテル® Pentium® 4プロセッサをサポートします。



追加情報の入手

追加資料については、HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Support CDを参照してください。また、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp> に直接アクセスするか、またはSupport CD経由でアクセスすることにより、追加情報や追加資料を入手できます。